

茨木市の指定文化財

茨木市指定文化財（有形文化財 考古資料）

しゃえんはんにくぼりいっせんごじゅうたいきょう

斜縁半肉刻一仙五獣帯鏡



◇所在地 茨木市東奈良三丁目12番18号（茨木市立文化財資料館）

◇指定番号 考古資料第2号

◇指定年月日 平成9年9月1日

茨木市指定史跡「安威0号墳」の1号粘土槨内から鉄製工具類（斧・鎌・刀子）・玉類（勾玉・管玉・小玉）などとともに出土しました。

斜縁の内側に二条の鋸歯文帯、続いて一条の櫛歯文帯、さらに内に銘帯を配して外区を形成しています。

「上方乍 竟 真大工 青龍」

* 「上」・「乍」は逆字。

内区は、円座のある六乳で等分され、右に仙人と朱雀、左に白虎と鹿、上と下に白虎を配しています。鈕の外側には細線の円圏を一条巡らせ、さらに外側の細線との間に、やや太い無文の円圏を巡らせています。

全体に鑄あがり甘く、特に内区の動物等の胴部は、細かい部分が鑄出されておらず、表現も稚拙です。また、鈕の外側の円圏が無文であることや青龍を欠いていることなどからみて、中国で製作された鏡でなく日本でまねて作られた倣製鏡の可能性が高いと見られます。

寸法・重量

面径：124mm 背径：118mm 面反：2mm
縁厚：5mm 体厚：1.8mm 重量：252g